

第4学年 社会科学習指導案

1 日 時 令和元年6月26日（水） 第2校時

2 場 所 4年教室

3 単元名 地震からくらしを守る

4 単元目標

- 地域社会における防災にかかわる諸活動について、地域の諸機関や地域の人々の活動の工夫や努力について理解する。
- 地域社会における防災にかかわる諸活動を意欲的に調べ、地域社会の人々の安全な生活の維持について地域の一員として考えようとする。
- 地域の人々の生活における防災にかかわる諸活動について学習問題を見だし、地域の安全を守るための関係機関やそこで働く人々の工夫や努力について見学・調査したり、具体的資料を活用したりして必要な情報を読み取り、これらの関係機関やそこで働く人々の働きが地域の人々の安全な生活の維持と向上に役立っていることについて考え、適切に表現する。

5 指導に当たって

(1) 児童について

- これまでの授業で本学級の児童（男子4名、女子4名）は、意欲的に問題解決的な学習に取り組んできた。前小単元「事故や事件からくらしを守る」では、地域の安全を守るため関係諸機関が連携していること、事故や事件が発生しないように日頃から防犯の取組をしていることを学習した。
- 5月に行われた地震の避難訓練では、全員が真剣に取り組む姿が見られた。また、事前・事後指導では、「地震が起こったら机の下で身を守る。」「津波の速度は速い。」など地震に対しての適切な正しい知識が身に付いている。
- 上島町防災訓練に参加した児童は7名で、家族も含め、防災に対する意識は高いと考えられる。家の近くの避難場所は知っているが、実際に家族で災害の時にどのような行動をとるかについて話し合っている児童はいない。

(2) 単元について

- 本単元は、大単元「くらしを守る」を構成する3つの小単元のうちのひとつで、小学校学習指導要領第3学年及び第4学年において、次のように位置付けられている。

(4) 地域社会における災害及び事故の防止については、次のことを見学・調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。

ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。

イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。

- 本単元では、関係機関が、地域の人々と協力して災害から私たちの生活を守るために日々努めていることを理解し、自らが地域に住む一員として、地域社会の人々の安全な生活の維持について関心を持ち、普段から何ができるかを考え協力しようとする態度を養うことをねらいとしている。

(3) 指導について

- 指導にあたっては、学校や地域の避難訓練や防災備蓄品について調べたり、地域で地震に備える活動をしている人々の思いについて聞き取り調査を行ったりすることによって、地震から地域を守ろうとしている人々の存在を知り、どのような思いをもって活動しているのかを理解させたい。また、防災にかかわる方に直接話を聞く機会を設けることで、防災のために自ら何ができるかを考えようとする意識を育てていきたいと考える。
- 本時は、東日本大震災発生直後、岩手県釜石市の沿岸部にある9つの小中学校の99.8%の児童生徒が避難して助かったという「釜石の出来事」を事例として取り上げ授業を行っていく。まず、一般市民よりも小中学校の児童生徒の方が避難率が高かったのはなぜかを考えさせ、日頃の避難訓練の大切さや、主体的に正しい判断をし、行動したことが結果として表れていることを理解させたい。そこで、災害対応カードゲーム教材「クロスロード」を取り入れ、児童自らが主体的によりよい行動を選択し、自分ならどうするかを考え、同じ意見や違う意見の児童と話し合う活動へと導いていきたい。YES、NOの意志決定カードを使い、友達の意見を聞いて、自分の考えが変わってもよいこととする。最後に、自分の考えを付箋に書き、全体で意見を共有する。終末では、「津波てんでんこ」という言い伝えがあることを紹介し、その意味を掲示する。さらに、家族でも地震時の避難について話し合うことの大切さに気付かせ、次時の参観日の「親子で考えるクロスロードゲーム」につなげたい。災害時によりよい判断をするためには、それぞれの立場を考えながら、事前に家族防災会議を行うことの大切さに気付かせたい。

6 小単元の評価基準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
① 地域社会における災害から人々の安全を守るために働く機関や人々について、関心をもって調べようとする。	① 地域の防災にかかわる諸活動についての学習問題を見だし、学習問題の予想や学習計画を考え、表現している。	① 観点にもとづいて見学・聞き取り調査をしたり、資料を活用したりして、地域社会における地震からくらしを守る諸活動について必要な情報を集め、読み取っている。	① 関係機関は、地域の人々と協力して地震からくらしを守る取り組みに努めていることや、関係諸機関が相互に連携して緊急に対処する体制をとっていることを理解している。

② 地域社会の一員として、災害から人々の安全を守るための活動に、自分から協力しようとする。	② 安全を守るための関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力を地域の人々の生活と関連づけて考え、適切に表現している。	② 調べたことを表や作品などにまとめている。	② 人々の安全を守るための関係機関の働きと、そこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解している。
---	---	------------------------	---

7 単元の指導計画と評価計画

流れ	学習活動	◇ 評価基準	時間
学習問題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東日本大震災の映像や写真を見て、地震によってどのようなことが起きるかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家や建物が崩れる。 ・ 電気・ガス・水道が使えなくなる。 ・ 津波がくる。 ・ 人がけがをしたり死んだりする。 ○ 地震からくらしを守るために、だれがどのようなことをしているのか（学習問題）について予想を立て、調べる計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校で避難訓練を行っている。 ・ 地域で避難訓練を行っている。 ・ 家庭で防災バッグを準備している。 ・ 消防署と連携している。 ・ 非常食を準備している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 映像や写真から、地震によってどのような被害が起こるかを読み取る。【技能】（発言・ノート） ◇ 町や地域の地震対策や工夫について、学習問題を考えようとしている。【思考・判断・表現】（ノート・発言） 	1
調べる	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校で行った避難訓練を思い出し、避難経路について考え、教頭先生に避難経路を考える時に気を付けていることの話聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に地震が起こった時と同じ訓練をしている。 ・ 出口に近い避難経路を考えている。 ・ 安全で近い道を通る。 ・ みんなの命を第一に考えている。 ○ 上島町では、地震から町民を守るためにどのような備えをしているかを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上島町では、災害に備えて防災計画を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学校で避難訓練を行う意味・避難計画を立てるときに気を付けることについて関心をもとうとする。【関心・意欲・態度】（見学・聞き取り） ◇ 資料から上島町の地震対策について調べたことをノートにまとめている。【思考・判断・表現】（パソコン・資料） 	1 1

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マップがある。 <p>○ 町の防災担当の方に話を聞き、地震に対しての町の備えや国・県・地域・学校との協力体制について理解する。</p> <p>○ 地域の防災倉庫を見学し、災害時にどのように運用されるのかを調べる。</p>	<p>◇ 上島町の関係機関が国・県・地域の人々と協力して地震に備えたり、地震が発生した緊急時に備えて連絡体制を整備したりしていることについて理解している。【知識】 (見学・インタビュー)</p>	1 1
まとめ	<p>○ これまでの学習で考えたこと、分かったことをまとめる。</p>	<p>◇ 関係機関が、国・県・地域の人々と協力して災害から私たちの生活を守るために日々努めていることを適切に表現している。【思考・判断・表現】 (ノート・発言)</p>	1
いかす	<p>○ 地震からくらしを守るために、自分にできることはどんなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練に積極的に参加する。 ・ 地域の人と仲良くする。 ・ 通学路や家の近くで危ないところをもう一度知っておく。 ・ 家の中の危ない所や避難場所について家族と話し合う。 <p>○ 災害の場面で、自分たちはどのような行動をすればよいだろう。</p> <p>○ 災害の場面で、自分たちはどのような行動をすればよいだろう。</p>	<p>◇ 今まで学習したことや家族防災会議、友達との話し合いを参考にしてまとめることができる。【技能】(発言・ノート) ◇</p> <p>◇ それぞれの立場を考えながら災害の場面で自分は何のような行動がよいか考えて、友達と話し合うことができる。【思考・判断・表現】 (ノート・発言)</p> <p>◇ それぞれの立場を考えながら災害の場面で自分は何のような行動がよいか考えて、親子で話し合うことができる。【思考・判断・表現】 (ノート・発言)</p>	1 1 本時 1 参観日

8 本時の指導（8／9）

(1) 本時の目標

- 「釜石の出来事」の事例から考え、話し合うことを通して、それぞれの立場を考えながら災害の場面で自分はどうのような行動がよいか考えて、友達と話し合うことができる。

(2) 準備

クロスロードカード、センテンスカード、付箋、写真（画像）

(3) 本時の展開

主な学習活動	形態 (時間)	○ 教師の働きかけ・支援 ◇ 評価 ・予想される児童の反応
1 釜石市全体の被害と釜石市の小中学校の児童生徒の被害の違いを見比べ、気付いたことを発表し、本時のめあてを確認する。	全体 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図で釜石市の位置を確認し、写真や被害者数で被害の状況を想像させる。 ○ なぜほとんどの児童生徒は助かったのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練をしていた成果だ。 ・ その時その時で正しい判断・行動ができたからだ。
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 災害の場面で、自分たちはどのような行動がよいかを考えて、友達と話し合おう。 </div>		
2 クロスロードゲームのめあてと学習の仕方を知る。	全体 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのようなゲームかを説明する。 ○ YES でも NO でも正解はない。 ○ いろいろな意見が出るのが大事である。 ○ 自分の考えを変えてもよい。
3 災害の場面を想定し、どの行動をとるか考える。 (1) クロスロードゲーム①をする。自分の考えを選択し、その理由を付箋に書く。 (2) 同じカードを選択した者同士で話し合う。 (3) 最終的な意見を黒板に貼り、全体で話し合う。	個人 (3) グループ (5) 全体 (7)	<div data-bbox="663 1397 1422 1715" style="border: 1px solid orange; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">クロスロードゲームその①</p> <p>学校にいるときに地震が発生！津波にそなえ、みんなでひなんすることにしました。しかし、友だち一人見当たりません。その時あなたはどうする？</p> <p>YES: 友だちをさがす</p> <p>NO: まずひなんする</p> </div> <p>◇ それぞれの立場を考えながら災害の場面で自分はどうのような行動がよいか考えて、友達と話し合っている。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】 (ノート・発言)</p>

<p>(4) クロスロードゲーム②をする。自分の考えを選択し、その理由を付箋に書く。</p>	<p>個人 (3)</p>	<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; text-align: center;"> <p>クロスロードゲームその②</p> <p>あなたは、海の近くに住んでいます。家に1人いるときに地震が発生。津波がくるかもしれません。家の人は買い物に出て、ついさっき「帰ってくる。」という連絡がありました。そのときあなたはどうしますか。</p> <p>YES: 家の人帰るまで待つ。</p> <p>NO: すぐに近くの高い山ににげる。</p> </div>
<p>(5) 同じカードを選択した者同士で話し合う。</p>	<p>グループ (5)</p>	
<p>(6) 最終的な意見を黒板に貼り、全体で話し合う。</p>	<p>全体 (7)</p>	
<p>4 クロスロードゲームの感想を発表する。</p>	<p>全体 (3)</p>	<p>○ 気付いたこと、学んだこと、これから学びたいことを発表する。</p>
<p>5 「津波てんでんこ」という言葉の意味を知る。</p>	<p>個人 (2)</p>	<p>○ 家族防災会議を行うことの大切さに気付かせ、自分だけでなく、家族全員で地震時の避難について考えさせるようにする。</p>
<p>7 次時までの課題を理解する。</p>	<p>全体 (1)</p>	<p>○ クロスロードゲーム②を再度家族で話し合うことを課題とする。</p>

9 授業評価の視点

- それぞれの立場を考えながら災害の場面で自分はどのような行動がよいか考えて、友達と話し合うことができたか。【思考・判断・表現】